



宮城学院広報
MIYAGI GAKUIN

vol.
155
2016.9



創立130周年
— Since 1886 —

創立130周年を記念して、今号から「宮城学院広報」がリニューアル! タイトルには新たに「Glory to God(天にみ栄え)」を冠し、内容もさらに充実。宮城学院に関するさまざまな情報を、皆さに見やすくわかりやすくお伝えします。

Glory to God

特集

宮城学院創立130周年記念 今、ここに在る「改革」と「不変」

「建学の泉」

六角形の池と噴水からなる、宮城学院のシンボル。東三番丁にキャンパスがあった1928(昭和3)年、「六角池」として建設。1983(昭和58)年には、旧キャンパスから現在の場所へと移設された。時代が移り変わっても“憩いの場”に変わりはなく、その傍らには、常に宮城学院生たちの姿があった。

タイトル「Glory to God」は宮城学院の校歌「天にみ栄え」の英訳であり、本学院のキリスト教精神を象徴する言葉。旧東三番丁キャンパスの講堂内にも、この言葉が掲げられていた。

今、ここに在る 「改革」と「不変」

創立130周年を迎えて

2016年9月、宮城学院は創立130周年を迎えました。

少子高齢化など、我が国は多くの課題を抱える中、本学院は2016年度を改革元年とし、創立130周年を期して多くの記念事業計画・改革を推進します。これらは、教育機関として社会状況・ニーズ等へ対応すること、そして、地域社会等ステークホルダーへの感謝を改めて表すことを目的としています。

記念事業計画の主要な柱として、幼稚園教育と保育園を一体化した幼保連携型認定こども園「森のこども園」を設置します。さらには、教育の質を高めるための自ら主体的な学習を行う場として、新たにラーニングcommons機能を備えた学術情報館の設置を予定しています。また、大学、高等学校、中学校の教育設備等の教育環境を整備するとともに、修学を支援する奨学金の充実も図ります。

改革においては、大学では現代社会のニーズに合った人材育成のため、これまでの学芸学部10学科体制を刷新し、現代ビジネス学部、教育学部、生活科学部、学芸学部の4学部9学科体制へと、大学創設以後最大の学部学科改組を行いました。また、社会連携センター・音楽リエゾンセンターを設置し、学外のさまざまな団体・企業との連携による社会貢献活動を推進しています。

中高では、本学院の特徴の1つであるグローバル教育や、多様な賜物を与えられた生徒の受け入れ強化等にも注力します。中学校では、従来型の入試だけではなく、思考力・英語入試を実施するという入試改革を行いました。高校では、2017年度にクリエイティブコースの中にグローバルコミュニケーション専攻を設置、また独自のオンライン英語プログラムを実施しています。同時に放課後学習支援室「スタディモール」を開設し、きめ細やかな個別指導を行っています。

一方で、130年の歳月を経てなお宮城学院には「不変」のものが 있습니다。それは「建学の精神」であり、それを端的に表現した「神を畏れ、隣人を愛する」というスクール・モットーです。これは宮城学院が宮城学院である原点そのものであり、教職員・在校生・卒業生等が持っている共通のDNAでもあります。

「不変」の精神を礎として、創立130周年を機にさらに社会から支持される教育機関となるよう、宮城学院はこれからも「改革」そして不断の努力を続けてまいります。



学校法人宮城学院 学院長
(宮城学院中学校高等学校 校長)

嶋田 順好

学校法人宮城学院 理事長

小林 信夫

宮城学院女子大学 学長

平川 新

創立130周年記念行事 実施報告

5/18 創立130周年記念音楽会

5月18日、「宮城学院創立130周年記念音楽会」が開催されました。会場の東京エレクトロンホール宮城には、宮城学院の在学生をはじめ、たくさんの卒業生や一般のお客様など、約1,500人が来場しました。

音楽会では、本学音楽科の及川浩治教授(ピアノ)、船橋洋介准教授(指揮)、卒業生でソプラノ歌手のカオリ・サトウ・オストロフスキーさんの3人が、仙台フィルハーモニー管弦楽団と共演。ベルリオーズの「序曲『ローマの謝肉祭』作品9」、「歌曲集『夏の夜』作品7」、チャイコフスキーの「ピアノ協奏曲第1番」を披露しました。



及川浩治教授(ピアノ)



船橋洋介教授(指揮)



カオリ・サトウ・オストロフスキーさん(ソプラノ)

6/29 「森のこども園」新園舎の一部内覧会



伊東豊雄建築設計事務所

6月29日、現在建設中の宮城学院女子大学附属認定こども園「森のこども園」新園舎の一部内覧会を開催しました。まずは、設計士から園児たちに、新しくなる園舎について説明があった後、新園舎敷地へと移動し、伊東豊雄氏、竹中工務店の方々、本学院関係者が集まり、式典(祈祷・祝祷など)を実施。その後、5歳児室と4歳児室の内覧会を行いました。1本の材木を曲げたものを交互に織り重ねるといふ、非常に高度な技術を要する屋根が新園舎の大きな特徴のひとつで、その屋根が初公開されました。



内覧会の後、本園の園庭や敷地内の畑づくりに指導いただくために、本学と玉浦西まちづくり住民協議会の間で連携協定の締結式が行われました。

5/21 MG人文字撮影を実施

5月21日の中高運動会終了後、教職員、生徒とその保護者の皆様約700名で、「MG」の人文字写真を航空撮影しました。この写真は、130周年を祝う記念誌「宮城学院 目で見る130年」に掲載されます。



9/4 同窓会主催イベント「宝生流の能」

9月4日、宮城学院同窓会主催創立130周年記念イベント「宝生流の能」が大学講堂で開催されました。宝生流能楽師の武田孝史氏、大蔵流狂言山本家の山本則重氏による舞台に、多くの観客が酔いしれました。



5/15 ノーベル平和賞受賞者が講演 創立130周年記念ホームカミングデー

同窓会主催のホームカミングデーで、2014年ノーベル平和賞を受賞された児童労働活動家カイラシュ・サティヤルティ氏と認定NPO法人ACE事務局長白木朋子氏(高46回卒)の講演が行われました。サティヤルティ氏は、『思いやりの心で世界を救う—声なき子どもたちの自由と未来のために—』というタイトルで、自身が児童労働活動家になった経緯、その志について話しました。



今後の記念行事および広報展開

「詩画と音楽でつづる星野富弘の世界—響きあう心—」

11月に詩人・画家である星野富弘氏の詩画展とコンサートを開催します。このイベントは、星野氏の作品に感銘を受けた嶋田学院長が企画。また、星野氏の詩に対して作曲し親交のあったなかにしあかね教授のサポートがあり、実現しました。本学の精神に通じる部分がある星野氏の作品を、視覚・聴覚を通して味わえるまたとない機会です。



●詩画展
【概要】星野氏の詩画を展示
【期間】11月25日(金)～30日(水)
【時間】10:00～19:00
(最終日のみ16:00まで)
【場所】せんだいメディアテーク
ギャラリー3300(5階)
【料金】一般600円、高校生300円、
小中学生100円
※チケットびあ、ローソンチケット等で発売中

●コンサート
【概要】星野氏が作詞、なかにし教授が作曲した「花の風」等の曲目を、本学教員や音楽科の在校生・卒業生、そして創立130周年記念合唱団等みんなで歌うコンサート
【実施日】11月26日(土)
【時間】14:30開場、15:00開演
【場所】東京エレクトロンホール宮城
【料金】1,000円(全席自由)
詩画展とコンサートのセット券も、1,300円で販売中
※チケットびあ、ローソンチケット等で発売中



<星野富弘氏について>

詩人・画家。1946年、群馬県生まれ。中学校の体育教諭として指導中に頸髄を損傷、手足の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文や絵を書き始める。現在は全国で「花の詩画展」を開く等、その作品は多くの人々の感動を呼んでいる。

創立130周年記念ロゴマーク

宮城学院高等学校(当時)の伊達香澄美さんがデザインしました。中央には、宮城学院を表す「MG」の文字、そして右上には、その文字を導くように、校章にも使用されている鳩が羽ばたく様子が描かれています。カラーは本学のスクールカラーである、えんじ色を使用しています。



学院紹介映像・パンフレット

約8分間の本学院紹介映像およびパンフレットが完成しました。法人HPで視聴・閲覧可能です。ぜひご覧ください。

※掲載内容は変更になる場合があります

9/17 創立130周年記念礼拝・記念講演

【概要】創立130周年を記念した礼拝で、淀川キリスト教病院理事長であり前金城学院学院長の柏木哲夫氏による講演も行います。
【実施日】9月17日(土)
【時間】13:00～
【場所】宮城学院 礼拝堂

10/8 創立130周年記念式典・祝賀会

【概要】創立130周年を記念した式典および祝賀会を旧東三番丁キャンパス跡地(仙台国際ホテル)で行います。
【実施日】10月8日(土)
【時間/場所】【記念式典】
14:00～15:30/仙台国際ホテル4階「広瀬」
【記念祝賀会】
16:00～18:00/仙台国際ホテル2階「平成」

10/5 「森のこども園」竣工式

【概要】認定こども園「森のこども園」の新園舎完成を祝います。
【実施日】10月5日(水)
【場所】新園舎敷地内



新園舎は、世界的建築家の伊東豊雄氏が設計

伊東氏は「建築界のノーベル賞」と言われるプリツカー賞を2013年度に受賞。木の下で子どもたちが走り回ったり昼寝したりする姿をイメージし、新園舎をデザイン。

9/18 河北新報に特別広告を掲載

創立記念日9月18日の河北新報に、創立130周年記念特別広告を掲載。小林信夫理事長と磯田悠子さん(ホテル松島大観荘副社長)藤沢智子さん(東北放送取締役ラジオ局長)佐藤博美さん(東通インテグレート代表取締役社長)卒業生3人の対談記事です。



9/22 東北放送で特別番組をオンエア

9月22日10:50～11:20、東北放送で創立130周年記念番組を放送します。ナビゲーターは、卒業生の歌手・森公美子さん。創設から現在に至るまで、宮城学院130年の歴史を振り返るとともに、未来に向けたメッセージを紹介します。



＊企業・外部団体との連携協定、続々！

楽天野球団

4月21日、本学と株式会社楽天野球団との間で連携協定を締結。本学の平川学長と楽天野球団 立花陽三社長らが出席した締結式が楽天Koboスタジアム宮城で行われました。これまでも、立花社長の講演会、学生考案コラボ弁当の球場販売等、接点の多かった本学と楽天野球団。今後は試合運営サポートや子ども向けイベントへの学生参画、女性に球場に足を運んでいただくための企画（意見交換）等、幅広い連携事業に取り組む予定です。



富谷町

3月25日、本学と富谷町の間で連携協定が締結され、富谷町役場で調印式が行われました。この連携協定は、本学と富谷町が有する資源の積極的な活用を図りながら、地域の子どもから高齢者までの心身の健康づくり、それらの社会的ニーズに対応する研究を深めること、未来を担う人材の育成に寄与することを目的としています。



宮城県漁業協同組合

5月13日、本学と宮城県漁業協同組合の間で連携協定が締結され、イオン石巻店で締結式が行われました。この協定により、今後はさらなる魚食文化の普及、さらに子どもたちへの食育分野での積極的な交流を進めていきます。また当日は、本学の学生による銀鮭の試食メニューの配布に加えて、食育セミナーも開催されました。



＊学生の活躍

「ソボレフスキー記念国際ピアノコンクール」で入賞



2月26日にロシアのハバロフスクでファイナルが開催されたソボレフスキー記念国際ピアノコンクール大学生の部で、音楽科4年の山王智世さん（写真左）、菊池由乃さん（写真右）が共に第2位に入賞しました。

全東北学生競技ダンス選手権大会で、競技ダンス部が団体優勝＆多数入賞

5月上旬、岩手県の滝沢総合公園体育館で開催された「全東北学生競技ダンス選手権大会」で、本学競技ダンス部が団体優勝を果たしました。また、以下の部門においても、多数入賞を果たしました。

・ワルツ（第1位 松田李佳子、第6位 千田真佑子） ・スロー（第1位 松田李佳子、第4位 千田真佑子）
・タンゴ（第2位 松田李佳子、第6位 千田真佑子） ・クイック（第1位 松田李佳子、第5位 千田真佑子）



食品栄養学科のボランティア団体「FAS」が、食育推進ボランティア表彰

6月11日、「食育推進全国大会 in ふくしま」で、食品栄養学科のボランティア団体「FAS (Food And Smile!)」が、農林水産大臣から食育推進ボランティア表彰を受けました。FASは、児童館の子供たちへの栄養教育、地元企業・住民と連携したレシピ開発などの食育活動、被災教訓を活かした地域の食産業との連携プロジェクト等、地域の広報活動にも貢献する取り組みを実践しており、これらの活動が評価されました。



＊全国大会に出場！

【ダンス班】

6月5日、横浜市で開催された第4回日本ダンス大会の決勝大会に高等学校ダンス班が初出場しました。ビデオ審査での予選を通過した北海道から沖縄までの45校で競い合いました。全国大会での入賞は叶いませんでしたが、生徒たちはこの経験を通して大きく成長しました。



【かるた班】

7月23・24日に、滋賀県大津市の近江神宮で開催された「第38回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会」に、高等学校かるた班が出場（全国最多の36回目）。団体戦は二回戦敗退でしたが、個人戦（D戦）は千葉寧々さん（1年萩組）が優勝しました。



＊日本生活科・総合的学習教育学会主催の第25回全国大会（宮城大会）を実施

6月11日・12日、高校およびこども園等が会場となり、上記全国大会が開催されました。小学校の1・2年生に置かれた「生活科」と小学校3年生以降、小学校・中学校・高等学校に置かれた「総合的な学習の時間」に関する授業実践や研究内容の最新情報の公開・交換等が目的です。

【高校にて】

グローバルスタディーズ3「世界の諸問題の共有」と題した公開授業や、金沢大学大学院の松田淑子氏に助言者として参加いただいた「授業研究会」を実施しました。



【こども園にて】

白梅学園大学の無藤隆氏に助言者として参加いただいた「授業研究会」を実施。また公開保育では、園の裏側にある山道を園児と歩き、大自然の中でのさまざまな気付き・発見の共有等を公開しました。



＊「トビタテ!留学JAPAN」留学生に、本学生徒が選出

「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」は、2014年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度です。このプログラムに、第一次書類選考、第二次面接をくぐり抜け、高校2年生須田彩貴咲さんが宮城県内の私学としては唯一、留学生に選ばれました。今回は、県内で3名しか合格しない難関の選考でしたが、見事アカデミックショートでの留学を決めました。



＊放課後学習支援室「スタディモール」スタート

今年度から、校内に放課後学習支援室「スタディモール」が開設されました。従来の自習室と大きく異なり、専属教師と大学生チューターが常駐しています。宮城学院中学校・高等学校の生徒なら全員が利用可能です（中学生は18:30まで、高校1・2年生は19:30まで、高校3年生は20:30まで）。



主な学習サポート内容

種 類	内 容
自習利用	広々とした個人スペースで自学自習が可能
フォーサイト班	システム手帳と定期面談で自学自習をサポート
サブリ班	貸出タブレットで予備校授業を受講
勉強班	一斉個別学習を行う、“学校の中の予備校”

＊公開講演会「なぜ今、北欧スウェーデンのアウトドア教育なのかー生きる知恵と喜びを生み出す未来の教室」を開催

3月26日、本学の発達科学研究所主催で、スウェーデンからリンショーピング大学アウトドア環境教育センター所長アンディッシュ・シェバンスキー先生らを招いて公開講演会を実施しました。本学こども園の教員も数多く参加し、キャンパス内で五感を使ったエクササイズを行う等、アウトドア教育を実際に体験することで理解を深めました。「森のこども園」で今後活かされるような学びもたくさんありました。





出身のバレエ教室主催の舞台で見事な舞を披露

5 歳からクラシックバレエをはじめ、10歳の頃には「バレリーナ」として世界で活躍することを目標としていました。当時から「勉強よりバレエがしたい」という私の想いを汲み、母が「ならば高校受験をせずに済む、中高一貫校へ」と宮城学院中学の受験を勧めてくれたんです。

中学校では恩師との出会いがありました。当時レヘルアップのため教室を変えようか悩んでいたのですが、そんなとき「あなたがしたいようにするべし、選抜されてプロの舞台でも踊りました。そして1年の在籍期間満了後、サンディエゴバレエ団でプロ契約のオーディションを受け、合格。しかしここで私はバレエ人生最大の挫折を味わいます。アメリカでプロのバレリーナとしてやっていくためには「オービザ」という特殊な就労ビザが必要なのですが、人数制限があり発行が叶

き」と背中を押してくれたのが宮城学院中学校時代の担任・八巻先生。当時反抗期真っ盛りで、両親の言うことはまったく聞かなかった私でしたが、先生の言葉だけはなぜか素直に聞くことができたんです。

高校2年生のときに、ミルウォーキーバレエが主催するサマーインテンシヴのスカラシップをいただき、練習生として6週間短期留学。さらに高校卒業後にはセミプロとしてセカンドカンパニーに所属し、プロのステージリハーサルに参加し、選抜されてプロの舞台でも踊りました。そして1年の在籍期間満了後、サンディエゴバレエ団でプロ契約のオーディションを受け、合格。しかしここで私はバレエ人生最大の挫折を味わいます。アメリカでプロのバレリーナとしてやっていくためには「オービザ」という特殊な就労ビザが必要なのですが、人数制限があり発行が叶

わなかったんです。最終的に、正式入団を諦めざるをえませんでした。

仙台に戻ってからは失意のため無気力に過ごしていました。しかし「これではダメだ」と一念発起し、イタリアンレストランでアルバイトをすることに。でもこれが気持ちを切り替えるいいきっかけになりました。お客様を相手に働くこと、バイト先の仲間たちと会話やショッピングを楽しむこと…。すべてがこれまでの人生にない新鮮な体験で、「まだまだ自分が見えていない世界がある」ということを冷静に受け止められるようになったんです。

そんな折出場したバレエコンペティションで、ウクライナのバレエ学校への入学許可を得たことをきっかけに、また「世界への扉を開くことができました。情勢の問題などもあり、最終的にはベルギーのバレエ学校に入

失意の中、仲間たちの励ましでバレエへの再チャレンジを決意

さまざまな分野で活躍する宮城学院の卒業生を紹介します。

地元企業とのコラボ商品で地域を盛り上げて、恩返しを



常に「感謝の心」を忘れず、店頭立つ高砂さん

員にお昼の味噌汁を振る舞うのですが、その味噌汁作りが私の役目。そのほか商品のラベル貼り、箱詰、お得意様から受注の電話受け、その合間に主婦として家族の食事を作り、母として子どものおしめ替えをしてお乳をやつて…。それまでの幸せな女学生時代から、急に「職業人・妻・母・嫁」を兼任する怒涛の世界に放り込まれた感じがした。

そうした忙しい時期を経て、ようやく自分なりにベースがつかめてくると、次第に「こうしたらどうだろう」というアイデアが湧いてくるようになりました。ある日ハンドソープを見て「この容器にしょう油を詰めたら？」と思いつき、誕生したのが「あわ醤油 鳳玉」。ほかにも、味噌を粉末にした「高砂長寿味噌パウダー」や、スタンダードパウチ型の「もろみ味噌」など、当社のアイデア商品のほとんどは私の発案と皆さんの協力

で完成したものです。おそらく普段台所に立つ主婦として「こんなものがあるといいな」という視点が、商品開発の源泉になっているのかもしれない。

ご存知の通り、当社の「石巻本社蔵」は東日本大震災で甚大な被害を受けました。大勢の方からたくさんの方の支援と励ましをいただき、そのお気持ちには感謝してもし足りません。震災自体は辛く悲しい記憶ですが、それをきっかけに結ばせていただいたたくさんのご縁は、今の私たちの財産となっています。そして宮城学院の同級生たちもまた、被災した私のことを気にかけてくれていました。実を言うと仕事に忙殺されていたこともあり、それまで一度も同窓会に出席していなかったんです。しかし「次の同級会」は高砂長寿味噌で味噌作りを」と企画していただき、ようやく長年の想いが叶いました。その後で上がった味噌を送

付したのですが、なんと全員からいいねいなお礼状をいただきました。宮城学院卒業生の礼節深さを、あらためて認識した次第です。

今、力を入れているのは「地元企業とのコラボレーション」です。大崎のデリシャストマトさんと作った「とまとみそドレッシング」や地元の水産加工会社さんとの「魚漬け」や「缶詰」、食肉加工会社さんとの「肉の味噌漬け」など、アイデアはまだまだ尽きません。これらの共同作業で地域を盛り上げ、そして震災時にいただいた支援へのご恩返しを、少しずつでもしていければと考えています。

高砂 裕子さん

1971年度 宮城学院女子短期大学保育科卒業
株式会社 高砂長寿味噌本舗 代表取締役

幼稚園から短大まで学生時代の大半を宮城学院で過ごした生粋の「MGっ子」。短大を卒業し、3年間保育園へ務めた後、結婚により高砂長寿味噌本舗へ。1993年に同社常務取締役、2015年には代表取締役に着任。女性ならではの視点と、しなやかなアイデアで多彩な新商品を生み出し続けている。

高橋 麻美さん

2010年度 宮城学院高等学校クリエイティブコース卒業
ステージエンターテインメント フランス所属

高校卒業後は、ミルウォーキーバレエセカンドカンパニー（アメリカ）、プリュッセルインターナショナルバレエスクール（ベルギー）を経て、現在に至る。今年10月には、30周年を記念しフランスで初上演される「オペラ座の怪人」のオリジナルキャストに、アジア人で唯一、バレエダンサー役として選出されている。

大学キャリア支援

本学のキャリア支援の基盤となる
「MGUスタンダード」についてご紹介します。

「MGUスタンダード」とは

宮城学院女子大学では、2015年4月の入学者からすべての学生に対して実践している基礎教育があります。それが「MGUスタンダード」です。重視するのは、まず学生の知的好奇心や探究心にどこまでも応える環境づくり。そして、実践を通して身につけた専門性を深く掘り下げ、確かなものとしていく成長のサイクル。さらには、目標を持って学ぶ学生を支援するためのさまざまな制度作りや実践教育の充実にも力を入れています。

「MGUスタンダード」の特徴は、以下3点

①女性としての生き方を問い、 将来の方向性を考える教育科目の充実



学生が、自らの将来にふさわしい生き方を見つけることのできるよう、幅広いカリキュラムを用意。「女性と人権」「音楽の世界」「現代社会と女性」「ライフワーク論」、「キャリア形成論」等、多様な側面から学びます。

②大学生や社会人として 必要な基礎スキルの習得を目指す



国際化や高度情報社会で活躍する社会人となるため、必要な基礎技術について到達目標を決め「英語コミュニケーション」「情報処理」「英語リテラシー」等の科目を通して、誰もが一定の水準になるまで教育します。

③学生が自ら成長を加速させる 「キャリアデザイン」科目を設置



人生をセルフプロデュースできる能力を育むことを目的とし、キャリア支援センターの協力で「キャリアデザイン」科目を設置。各学部・学科の特徴に合わせたキャリア教育を推進していることが特徴です。

同窓会からのお知らせ

同窓会長のごあいさつ

学院創立130周年に際して、同窓会長から皆様へのメッセージです

学院創立130周年を経て 同窓生のつながりをさらに広く、強く

「宮城学院の教育とは、なにか?」このような問いを受ける度に、どんな説明よりも「同窓生」の存在そのものが、宮城学院の精神と教育を表しているのではないかと考えてしまいます。若き日にキリスト教の女子校で学んだ同窓生たちは、神の前に自由な主体として、謙虚に真剣に女性である自分の人生を考え、主にある平和の作り手として、他の人と共に過ごす生き方を促され

てきました。宮城学院の「建学の精神」をモラルバックボーンとする同窓生は、のべ8万名を数え、母校のさらなる発展を祈りながら、日本そして世界各地で活躍しています。創立130周年をお祝いし、同窓会ではより一層会員同士の交流を深め、つながりを広く強くしつつ、150年、200年と続く母校の未来に貢献していきたいと考えております。皆様方、何卒お力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。



宮城学院同窓会長
長井 祥子

宮城学院創立百三十周年記念 期にいたりて実を結び 第3集

同窓会にて好評発売中!

職業・地域貢献・ボランティア・国際交流の分野で活動する同窓生が、宮城学院で学んだ大切なこと、人生の歩みなどを綴った寄稿文集です。「親子4代宮城に学ぶ」「大学茶道部70周年記念」「東日本大震災を経験して」などの特集記事も掲載。節目の年にふさわしい一冊を、ぜひご覧ください。

【問い合わせ】宮城学院同窓会 022-279-6675



「ハートフル童話集2016」発売中! ハートフル童話集

“ひとをはぐくみ ゆめをはぐくむ”を合言葉に創設された「ハートフル童話賞」も7回目を迎え(隔年実施)、今年はその入選作を収録した「ハートフル童話集2016」を刊行いたしました。

今回のテーマは「オバケ」です。このオリジナル童話集は、企画だけでなく、表紙も挿絵も、本学院の園児、生徒、学生、同窓生が行っており、宮城学院らしい手作り感あふれる本になっています。

仙台市内の一部書店で販売しています(定価540円)。入賞作等の詳細は学校法人宮城学院HPをご覧ください。



Information

これからの 行事予定

今後開催される、魅力いっぱいの行事やイベントをピックアップ! 保護者そして同窓生の皆さんも、気軽に参加できる催し物も多数あります。奮ってご参加ください! 詳細は、大学・中高・こども園・法人いずれかのホームページに掲載されますので、事前にご確認ください。
※なお日時や場所など、掲載内容が変更になる場合があります。また写真はすべてイメージです

9月

こども園運動会

- 日時／9月22日(木・祝) 9:00～
- 場所／園庭
- お問合せ／こども園 022-279-1344



創立130周年記念 宮城学院大食卓会

宮城学院に縁のある方々(卒業生や保護者の皆様等)や、在学生、地域住民等が友達やご家族を誘い合い、本学院で楽しいひとときを過ごす、130周年記念イベントです。食事はイタリアンパスタのお店「ハミングバード」とのコラボレーションです。

- 日時／9月25日(日) 11:30～14:00
- 場所／本学 キャンパス
- 参加費／2,000円
- 定員／300名
- お問合せ／社会連携センター 022-279-5876



10月

宮城学院女子大学 大学祭

『Ohana～咲きほこれミヤガク～』

今回の大学祭のテーマは「Ohana」です。花が満開に咲きほこるように、大学祭に参加する一人ひとりが輝ける場所になってほしい、という願いが込められています。大学祭に参加するすべての人々と共に輝ける場をめざし、このテーマに決定しました。

- 日時／10月14日(金) 仮装パレード(市内中心部) 10月15日(土)、16日(日)10:00～16:00 大学祭
- 場所／本学 キャンパス
- お問合せ／学生生活センター 022-279-4957

・両日とも中夜祭企画 お化け屋敷「封じられた科学室」を予定
・後夜祭では「DAIGOトークショー」を予定



11月

音楽科コンサート

『創立130周年記念 音楽科コンサート』

- 日時／11月6日(日) 14:00～
- 場所／本学 大学講堂

『音楽科特別教育計画』

- 日時／11月17日(木) 18:00～19:30
- 場所／本学 ハンセンホール
- お問合せ／音楽科 022-277-6130

心理行動科学科「ココロサイコロ2016」

心理行動科学科の1年生が、半年の研究成果を広く一般の皆様に向けて展示・ご報告します。

- 日時／11月23日(水・祝) 12:00～17:00
- 場所／仙台駅 アエル2F アトリウム
- お問合せ／心理行動科学科 022-277-6491



12月

中高クリスマス礼拝

130周年を記念し、東京エレクトロンホール宮城でクリスマス礼拝を行います。弦楽やハンドベルの演奏、生徒による合唱等でクリスマスをお祝いします。参加者全員でハレルヤコーラスも歌います。



- 日時／12月10日(土)
- 場所／東京エレクトロンホール宮城
- お問合せ／中高事務室 022-279-1334

第三回 宮城学院クリスマスマーケット

ステンドグラスとパイプオルガンを備える礼拝堂で、厳かに守られる開会礼拝に始まり、大好評のマルシェや、ドイツ仕込みのクリスマススイーツなど、内容盛りだくさん。今年は、こども向け企画がバージョン・アップ。ご家族でも、おひとりでも、おふたりでも楽しめる、宮城学院ならではのあたたかなクリスマスマーケットです。



- 日時／12月18日(日) 11:00～16:30
- 場所／本学 キャンパス
- お問合せ／社会連携センター 022-279-5876

1・2月

生活文化デザイン学科展

生活文化デザイン学科生の学びの成果を、広く知っていただくことを目的に開催します。

- 日時／1月26日(木)～2月1日(水) 10:00～19:00(最終日のみ10:00～17:00)
- 場所／仙台メディアテーク5F
- お問合せ／生活文化デザイン学科 022-277-6153



